

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営学級	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科	国語「どうぞよろしく」 挨拶の言葉や返事の仕方を考える。【伝え合う力】	図画工作「好きな物いっぱい」「遠足の絵」自他の作品のよさを話し合う。【自己・他者理解】		国語「好きなもののなかに」他の人に伝わるように話す。【伝え合う力】		体育 「表現・リズムダンス」 1,2年生で協力して取り組む。【協力】		音楽 演奏や合唱を練習し、皆で合わせることに楽しさに気付く。【自己・他者理解】	算数 「くらべかた」長さ、かさ、広さについて媒介物を用いて間接的に比べる方法を考える。【筋道を立てて考える力】	国語 「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」想像を広げながら読む。【想像力】		
特別の教科 道徳	「あいさつ」 基本的な挨拶の仕方を具体的に理解し、身近な人々といつも明るく接しようとする。【B 礼儀】	「こころはつば」 友達とすすんで関わり、仲よくしようとする。【B 友情、信頼】	「ハムスターのあかちゃん」 身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする。【D 生命の尊さ】			「どきどきどっきんぐ」 生きていることを喜び、生命を大切にしようとする。【D 生命の尊さ】	「ぼくとシャオミン」 他国の人々に親しみをもち、自分たちと異なる文化のよさに気付いて積極的に関わっていかうとする。【C 国際理解,国際親善】	「はしのうえのおおかみ」 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする。【B 親切、思いやり】	「はなばあちゃんがわらった」 友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち、相手を大切にしようとする。【B 親切、思いやり】	「もうすぐ二ねんせい」 友達と一緒に自分たちの学級を大切にしようとする。【C よりよい学校生活,集団生活の充実】		
生活科	「きょうから1ねんせい」 クラスのみんなと友達になることができる。	「じゃがいもほり交流会」 保育園生との交流を通して、自分の成長に気付く。				「なかよくなろうね ちいさなともだち」 生き物に親しみをもち、意欲的に生き物に触れたり世話をしたりしようとしている。【生命尊重】		「きたかぜと あそぼう」 昔の遊びに関心をもち、遊び方を教えてもらったり、練習したりしようとしている。	「かぞくにこにこだいさくせん」 家庭での生活に関心をもち、自分の役割を積極的に果たそうとしている。	「もうすぐ2年生」 新しい1年生のことを考え、迎えるための準備をしようとしている。		
特別活動	1年生を迎える会 学校の仲間入りをする。【個人の尊厳】	学級活動(1)「クラスの名前を考えよう」 自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識,自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。《子供》	児童会活動「あいさつ運動」 豊かな人間関係を築く。【コミュニケーション能力】			運動会 友達と心をつなにして取り組む。【帰属意識,自尊感情】	児童会活動「募金活動」 人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】	学芸会 自分や友達のよさを認め合う。【自己・他者理解】	児童会活動「6年生を送る会」 卒業生へ感謝のメッセージを送る。【豊かな人間性】		
	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】											
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	体力向上月間(長なわ) クラスの仲を深める。【帰属意識・自尊感情】	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。	ふれあい月間(いじめ防止)	人権の花運動：育てた花を地域の施設等に贈り、優しさや思いやりの心情を育む。			ふれあい月間	人権週間 人権標語を作る。	ふれあい月間		
		親子レクリエーション		個人面談				体力向上月間(持久走) 自己の力を高める。【自己肯定感】		体力向上月間(短なわ) 自己の力を高める。【自己肯定感】		学校評議員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。

東京都八丈島八丈町立大賀郷小学校
第2学年 人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、2学年の学校生活への適応を図る。			言語環境を整え、教育環境の整備を図る。	一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科	国語「きょうのできごと」身近な出来事から書くことを決め、出来事の様子や自分の気持ちを書く。【表現力】		国語「うれしいことば」人を嬉しい気持ちにさせる言葉の働きに気付くことができる。【他者理解】	体育「水遊び」友達と仲良く安全に運動する。【協力】		国語「ことばでみちあんない」伝えたいことについて、話す事柄や順序を考えて発表する。【伝え合う力】	国語「お手紙」登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読む。【想像力】	体育「ボール投げゲーム」ルールを守って友達と仲良くゲームを行い、ゲームの勝敗の結果を受け入れる。【公正な態度】	国語「すてきなところをつたえよう」伝えたいところに気を付けて互いの話を聞き合い、話題に沿って話し合うことができる。【伝え合う力】	算数「図をつかって考えよう」減法逆加法、加法逆減法などの問題についての数量関係や式を考える。【筋道を立てて考える力】		
特別の教科 道徳	「くまくんのたからもの」幼いや友達に温かい心で接し、思いやりの心をもって親切にしようとする。【B親切、思いやり】	「大すきなフルーツポンチ」自分の好き嫌いとらわれないで、人に接する態度を養う。【C公正、公平、社会正義】	「げんきにそだて、ミニトマト」身近な自然に親しみ、動植物に優しい心をもって接しようとする。【D自然愛護】	「ひろいせかいのたくさんの人たちと」ほかの国の人々や文化に親しもうとする。【C国際理解、国際親善】		「森のともだち」友達と互いに仲よく助け合っていこうとする。【B友情、信頼】	「かっぱわくわく」困っている相手に、すすんで優しく親切にしようとする。【B親切、思いやり】	「ぼく」生きることを喜び、生命を大切にしようとする。【D生命の尊さ】	「じぶんがしんごうきに」お世話になっている人の苦労を理解し、感謝する。【B感謝】	「ゆきひょうのライナ」生きることの素晴らしさを知り、生命あるものを大切にしようとする。【D生命の尊さ】	「いま、ぼくにできること」働くことのよさを知り、みんなのために役立つとうとする。【C勤労、公共の精神】	「まる子のかぞくへのしつもん」すすんで家族の手伝いをし、家族を敬愛する。【C家族愛、家庭生活の充実】
生活	「春だ 今日から2年生」1年生との関わりを通して、自分の成長に気付く。	「わたしたちの野さいばたけ」「生きものともだち」生きものは命をもっていることに気付く。【生命尊重】				「作ってあそぼう」友達と教え合いながら、みんなで遊びを楽しむ。	「かんも交流」中学生と一緒に「さつまいも」を育て収穫して、仲良く交流する。		「町のすてき大はっ見」自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所と関わりをもっていることに気付く。	「わたしだいすき みんな大すき」今までの成長を振り返り、自分を支えてきた人たちに感謝の気持ちをもつ。		
特別活動	1年生を迎える会大切な仲間として迎える。【個人の尊厳】	学級活動(2)「クラスの名前を考えよう」自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識、自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。《子供》	児童会活動「あいさつ運動」豊かな人間関係を築く。【コミュニケーション能力】		運動会友達と心をついて取り組む。【帰属意識、自尊感情】	学級活動(2)「みんなのよいところ、わたしのよいところ」【よりよい人間関係】	児童会活動「募金活動」人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】	学芸会自分や友達のよさを認め合う。【自己・他者理解】		児童会活動「6年生を送る会」卒業生へ感謝のメッセージを送る。【豊かな人間性】	
	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】											
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	体力向上月間(長なわ)クラスの仲を深める。【帰属意識・自尊感情】	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。	ふれあい月間(いじめ防止)				ふれあい月間	人権週間人権標語を作る。		ふれあい月間	学校評議員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。
		親子レクリエーション		人権の花運動：育てた花を地域の施設等に贈り、優しさや思いやりの心情を育む。	個人面談			体力向上月間(持久走)自己の力を高める。【自己肯定感】			体力向上月間(短なわ)自己の力を高める。【自己肯定感】	

東京都八丈島八丈町立大賀郷小学校
第3学年 人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、3学年の学校生活への適応を図る。			言語環境を整え、教育環境の整備を図る。	一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科	理科「生き物を調べよう」身近に見られる植物や昆虫の成長の過程を興味・関心をもって追究し、生命を愛護し育てる。【生命尊重】		体育「浮く・泳ぐ運動」友達と励まし合ったり、補助し合ったりして練習する経験を通して、協力などの態度を身に付ける。【協力】			国語「山小屋で3日間過ごすなら」伝えたい目的と内容を明確にして、言葉遣いや視線などに注意しながら話す。【伝え合う力】	社会「働く人とわたしたちの暮らし」お店や農家で働く人の工夫について、自分たちの生活と関連付けて考え、話し合う。【公民的資質】	音楽 演奏や合唱を練習し、皆で合わせることの楽しさに気付く。【自己・他者理解】	算数「三角形のなかまを調べよう」二等辺三角形・正三角形の性質を帰納的に見いだす。【筋道を立てて考える力】	国語「わたしたちの学校じまん」相手を見て、大事な部分や言葉を強調したり、間の取り方に注意したりして話す。【伝える力】	国語「モチモチの木」登場人物の行動や会話から、人物の人柄や気持ちを捉えて読む。【想像力】	
特別の教科 道徳	「やさしい人大さくせん」困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする。【B親切、思いやり】	「ヌチヌグスージ」生命は過去からつながっていることを知り、生命を大切にするとする。【D生命の尊さ】	「いいち、にいつ、いいち、にいつ」友達と互いに理解し、助け合っていこうとする。【B友情、信頼】	「いただいたいのち」命の尊さを知り、命あるものを大切にするとする。【D生命の尊さ】		「なかよしだから」友達のことをよく考えて、友達を大切にしようとする。【B友情、信頼】	「耳の聞こえないお母さんへ」父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする。【C家族愛、家庭生活の充実】	「みさきさんのえがお」分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする。【C公正、公平、社会正義】	「三つの国」他国の人々や文化に親しみ、関心を持つとうとする。【C国際理解、国際親善】	「六べえじいとちよ」相手のことを考え、すすんで親切にしようとする。【B親切、思いやり】	「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」生きている今を大切に、前向きに一生懸命生きようとする。【D生命の尊さ】	「大通りのサクラなみ木」日頃の自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する。【B感謝】
総合的な学習の時間	「発見！大賀郷」自分が住んでいる地域のよいところを探し、調べたことをまとめる。【社会参画】		「“こなさま”プロジェクト」カイコを卵から育て、命あるものを大切にするとともに、八丈島の伝統文化である黄八丈について調べ、分かったことをまとめて伝える。【生命尊重・郷土愛】				「発信しよう わたしたちの八丈島！」自分たちが住む大賀郷や八丈島について調べたことや学んだことを、お世話になった地域の方たちに発表する。【郷土愛、他者意識】					
特別活動	1年生を迎える会 大切な仲間として迎える。【個人の尊厳】	学級活動(1)「クラスの名前を考えよう」自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識・自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。《子供》	児童会活動「あいさつ運動」豊かな人間関係を築く。【コミュニケーション能力】	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】	運動会 友達と心をつなげて取り組む。【帰属意識・自尊感情】	児童会活動「募金活動」人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】	学芸会 自分や友達のよさを認め合う。【自己・他者理解】	児童会活動「6年生を送る会」卒業生へ感謝のメッセージを送る。【豊かな人間性】			
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	体力向上月間(長なわ)クラスの仲を深める。【帰属意識・自尊感情】 親子レクリエーション	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。 ふれあい月間(いじめ防止)	人権の花運動：育てた花を地域の施設等に贈り、優しさや思いやりの心情を育む。 個人面談			ふれあい月間 体力向上月間(持久走)自己の力を高める。【自己肯定感】	人権週間 人権標語を作る。		ふれあい月間 体力向上月間(短なわ)自己の力を高める。【自己肯定感】	学校評議員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。	

東京都八丈島八丈町立大賀郷小学校
第4学年 人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、4学年の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科	理科「季節と生き物」 季節ごとの動物の活動や植物の成長について興味・関心をもって追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てる。 【生命尊重】	国語「聞き取りメモの工夫」 話し合いを進める言葉、人間関係を損なわない言葉や話し方について考える。 【伝え合う力】	国語「一つの花」 物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方の違いに気付く。【自己理解・他者理解】			体育「浮く・泳ぐ運動」 友達と励まし合ったり、補助をし合ったりして練習する経験を通して、協力などの態度を身に付ける。【協力】	国語「世界にほこる和紙」 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話す。【伝え合う力】		算数「どのように変わるか調べよう」 伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにする。【筋道を立てて考える力】	社会「特色ある地域と人々の暮らし」 檜原村や浅草の人々の生活に関心を持ち、意欲的に調べ、その特色やよさを考える。 【公民的資質】	体育「ゴール型ゲーム」 規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームを行い、ゲームの勝敗の結果を受け入れる。【公正な態度】	
特別の教科 道徳	「ドッジボール」 正しいと思うことは自信をもって行おうとする。【A善悪の判断、自律、自由と責任】	「合言葉は『話せばわかる！』」 相手と互いに理解し合って、自分と違う意見も大切にする。【B相互理解、寛容】	「世界の小学生」 自国の文化と比べながら、他国の人々や文化に関心をもとうとする。【C国際理解、国際親善】	「わたしの見つけた小さな幸せ」 生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする。【D生命の尊さ】		「うめのき村の四人兄弟」 自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする。【A個性の伸長】	「ぼくだってオーケストラ」 友達と互いに理解し励まし合いながら、よりよい関係を築いていこうとする。【B友情、信頼】	「点字メニューにちょうせん」 働くことの大切さを知り、すすんでみんなのために働こうとする。【C勤労、公共の精神】	「なにかお手伝いできることはありますか？」 相手のことを思いやり、すすんで親切にしようとする。【B親切、思いやり】	「『ありがとう』の言葉」 礼儀の意味や大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする。【B礼儀】	「走れ江ノ電光の中へ」 生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする。【D生命の尊さ】	「ボロといっしょ」 相手の身になって人を思いやり、すすんで親切にしようとする。【B親切、思いやり】
総合的な学習の時間	「安心・安全マップ」 自分が住んでいる地域の危険箇所を調べ、分かったことや考えたことを地図にまとめる。【社会参画】				「心のバリアフリーを目指して」 障害のある人や高齢者が困っていることや苦勞していることを理解するとともに、障害のある人に対する偏見や差別の現状を理解し、偏見や差別意識をもつことなく、共に生きるために自分たちにできることを考え、伝える。【自他の価値の理解】《障害者・高齢者》				「伝えよう東京都の伝統文化」⑩ 東京都の伝統文化について調べ、人々の願いや思いを知るとともに、分かったことをまとめ伝える活動を通して、東京の伝統文化への興味関心を深める。 【公民的資質】			
特別活動	1年生を迎える会 大切な仲間として迎える。 【個人の尊厳】	学級活動(1)「クラスの名前を考えよう」 自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識、自尊感情】		児童会活動「あいさつ運動」 豊かな人間関係を築く。 【コミュニケーション能力】		運動会 友達と心を一つにして取り組む。 【帰属意識、自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」 いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。 《子供》	児童会活動「募金活動」 人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】		学芸会 自分や友達のよさを認め合う。 【自己・他者理解】		児童会活動「6年生を送る会」 卒業生へ感謝のメッセージを送る。 【豊かな人間性】
	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】											
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	体力向上月間(長なわ) クラスの仲を深める。 【帰属意識・自尊感情】	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。	ふれあい月間(いじめ防止)	人権の花運動：育てた花を地域の施設等に贈り、優しさや思いやりの心情を育む。			ふれあい月間	体力向上月間(持久走) 自己の力を高める。 【自己肯定感】	人権週間 人権標語を作る。	ふれあい月間	学校評議員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。

東京都八丈島八丈町立大賀郷小学校
第5学年 人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営級	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。		言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科	理科「植物の発芽や成長」 生命を尊重する態度を育て、植物の発芽とその条件についての見方や考え方をもち。 【生命尊重・科学的な見方・考え方】		家庭「私の生活、大発見！」 家庭の仕事と家庭生活に関心をもち、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、家族の一員として、仕事を分担協力する。 【生活の工夫】			音楽 楽器の音や全体の響き、伴奏を聴き、音を合わせて演奏することを通して、豊かな情操を養う。	社会「わたしたちの生活と工業生産」 工業生産と国民生活との関連を理解し、産業の発展に関心をもち。 【公民的資質】	国語「あなたはどうか考える」互いの立場や意図をはっきりさせて、計画的に話し合う。 【伝え合う力】		社会 「情報化した社会と産業の発展」 受け取る情報・発信する情報等を理解する。 【公民的資質】	算数「割合をグラフに表して調べよう」 比較の仕方について割合やグラフを用いて、筋道を立てて考える。 【筋道を立てて考える力】	
道徳	「見えた答案」 明るく誠実に行動しようとする。 【A 正直・誠実】	「遠足の子供達」 自由を大切に、規律ある行動をする。 【A 自由、自立と責任】	「イルカの海を守る」 自然や動植物を大切にしようとする。 【D 自然愛護】	「おばあちゃんが残したもの」 自他の生命を尊重する。 【D 生命尊重】		「転校生がやって来た」 偏見や差別意識に気付く。 【C 公正・公平、正義】	「卵焼き」 家族の幸せを考えて、すすんで役に立つとする。 【C 家族愛】	「オーストラリアで学んだ事」 誠意をもって礼儀正しくする。 【B 礼儀】	「流行おくれ」 節度のある生活をしようとする。 【A 節度・節制】	「心のレシーブ」 男女互いに理解し合い、協力しようとする。 【B 友情・信頼】	「同じ空の下で」 同じ地球に生きる人として国際親善に努めようとする。 【C 国際理解】。	「ノンステップバスでの出来事」 温かく親切にしようとする心情をもつ。 【B 思いやり】
総合的な学習の時間		「環境会議～わたしたちにできること～」 日本や世界の環境問題について調べ、その解決策を考え、自分ができるところを発表する。【自然愛護】					「〇〇tubeで情報発信！」 自ら情報発信者として課題を立て、取材し、情報の受け手を意識した動画を作成する。 【自己・他者理解】					
	「目指せ お米マイスター」 米作り体験、米作りを通して、地域の農業や生産者の現状と食の問題について知るとともに、収穫祭で自分たちの作った米を食することで、収穫の喜びを味わう。 【生命尊重】											
特別活動	1年生を迎える会 学校の仲間入りをする。【個人の尊厳】	学級活動「クラスの名前を考えよう」 自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識、自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」 いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。 《子供》	児童会活動「あいさつ運動」 豊かな人間関係を築く。 【コミュニケーション能力】			運動会 友達と心を一つにして取り組む 【帰属意識、自尊感情】	児童会活動「募金活動」 人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】	学芸会 自分や友達のよさを認め合う。 【自己・他者理解】		児童会活動「6年生を送る会」 卒業生へ感謝のメッセージを送る。 【豊かな人間性】	
	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】											
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	体力向上月間(長なわ) クラスの仲を深める。 【帰属意識・自尊感情】	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。 ふれあい月間(いじめ防止)			連合音楽会 自分や友達の良さを認め合う。【自己・他者理解】		ふれあい月間 親子レクリエーション 体力向上月間(持久走) 自己の力を高める。 【自己肯定感】	人権週間 人権標語を作る。		ふれあい月間 体力向上月間(短なわ) 自己の力を高める。 【自己肯定感】	学校評議員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。

東京都八丈島八丈町立大賀郷小学校
第6学年 人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標 人権教育に関わる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、6学年の学校生活への適応を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
			言語環境を整え、教育環境の整備を図る。									
各教科	国語「聞いて、考えを深めよう」 互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、聞いたりして自分の考えを深めようとする。 【伝え合う力】	社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」 日本国憲法の基本的な考え方を知る。【公民的資質】	音楽 楽器の音や全体の響き、伴奏を聴き、音を合わせて演奏することを通して、豊かな情操を養う。 【豊かな情操】	理科「人や他の動物の体」 人や他の動物の体のつくりとはたらきについて推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する。 【生命尊重】		社会 身分制度が確立されたことや、厳しく差別されてきた身分の人々は、差別の中でも、手工業、芸能、治安等を担って社会を支えたことを理解する。《同和問題》	社会 「解放令」 発令以降も差別は残り、解放を求める動きが各地で起こったことを理解する。《同和問題》	社会 民主主義への意識が高まる中で、女性の権利と地位の向上を目指す運動がすすめられたり、全国水平社が結成されたりしたことを理解する。《女性》 《同和問題》	算数「順序よく整理して調べよう」 起こり得る場合を順序よく整理して調べることができるようにし、筋道立てて考える。【筋道を立てて考える力】	体育(保健) HIVやエイズについて正しく理解し、偏見や差別をせずに接することの大切さを知る。《HIV感染者》	理科「人の生活と地球環境」 生物と環境との関係を調べ、生命を尊重しようとする態度を身に付けさせる。【生命尊重】	社会「世界の中の日本」 外国の人々と共に生きていくためには、異なる文化や習慣を理解することの大切さを知る。【多様性を容認する態度】
特別の教科 道徳	「うちらネコの手ボランティア」 働くことや社会に奉仕することの意義を知り、すすんで人のためになる仕事をしようとする。 【C勤労・公共の精神】	「みんないっしょだよ～黒柳徹子」 誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にしようとする態度を育てる。【B親切、思いやり】	「修学旅行の夜」 自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重するとともに、責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	「エンザロ村のかまど」 日本人としての自覚や誇りを持ち、すすんで他国の人々とつながり、国際親善に努めようとする。 【C国際理解、国際親善】		「白幡の少女」 世界の人々と共存していることを理解し、国際親善に積極的に努めようとする。 【C国際理解、国際親善】	「言葉のおくりもの」 異性について理解し、互いに信頼し学び合って友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする。 【B友情、信頼】	「田中正造」 自分の損得にとらわれることなく、だれに対しても公正公平な態度で、社会正義の実現に努めようとする。【C公正、公平、社会正義】	「銀のしょく台」 謙虚な心を持ち、広い心で人の気持ちや立場を重んじ、相手の立場に立って考えようとする。【B相互理解、寛容】	「心に通じた『どうぞ』のひとつ」 相手の立場に立って思いやりの心を持ち、親切にしようとする。 【B親切、思いやり】	「東京大空襲の中で」 生きとし生けるものを慈しみ、かけがえのない生命を大切にしようとする。 【D生命の尊さ】	「小さな連絡船『ひまわり』」 身近な集団の中で自分の役割を果たそうとする。【Cよりよい学校生活、集団生活の充実】
総合的な学習の時間	「TOKYO 再発見！」 東京の魅力を調べ、実際に見学し、分かったことをまとめる。集団生活に必要なルールやマナーを考え、友達と協力してよりよい宿泊学習を作ろうとする。 【自己・他者理解】			「世界を知ろう」 世界の国々の文化等について調べ、多様な文化があることを知る。日本に住む外国人に対する偏見や差別の現状を理解し、偏見や差別意識をもつことなく、共に生きていこうとする。【他者理解】 《外国人》 東京オリンピック後、レガシーとして自分にできることを主体的に考え、行動しようとする態度を養う。						「私の未来設計図」 地域で働く人や職業について調べたり、働くことの意味について考えたり活動を通して、自分自身のよさを気づき、夢の実現のために今できることを考え、行動する。【自己理解・他社理解】		
特別活動	1年生を迎える会 大切な仲間として迎える。 【個人の尊厳】	学級活動「クラスの名前を考えよう」 自分が所属する学級への愛着をもつ。【帰属意識、自尊感情】	学級活動(2)「友だちを大切に」 いじめをしない、させない、見過ごさない態度を育てる。 《子供》	児童会活動「あいさつ運動」 豊かな人間関係を築く。 【コミュニケーション能力】			運動会 友達と心を一つにして取り組む。 【帰属意識、自尊感情】	児童会活動「募金活動」 人権擁護のために募金活動をしている機関を知る。【人権を擁護する機関の知識】		学芸会 自分や友達のよさを認め合う。 【自己・他者理解】		児童会活動「6年生を送る会」 在校生へお礼のメッセージを送る。 【豊かな人間性】
	縦割り班活動 異学年の児童の班編成による自主的・主体的な活動を通して、異学年交流を深め、仲良くなり、互いを認め合う。(縦割り遠足・朝の遊び・交流給食)【他者理解】											
その他	保護者会等：家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。	移動教室 友達と協力して	体力向上月間(長なわ) クラスの仲を深める。 【帰属意識・自尊感情】	道徳授業地区公開講座：道徳の実践を地域・保護者に広める。 ふれあい月間(いじめ防止)	個人面談	遠泳 互いに励まし合いながら海で1時間泳ぐ。 親子レクリエーション			ふれあい月間 体力向上月間(持久走) 自己の力を高める。 【自己肯定感】	人権週間 人権標語を作る。	ふれあい月間 体力向上月間(短なわ) 自己の力を高める。 【自己肯定感】	学校評議委員会：学校の人権教育についての評価と今後の課題の検討をする。
			人権の花運動：育てた花を地域の施設等に贈り、優しさや思いやりの心情を育む。									

